

茨城県内企業 トップが語る

わが社の戦略2021

持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響で先行きは極めて不透明な茨城県経済。そうした中、県内製造業では研究開発の強化や生産効率化、海外展開などの独自戦略を打ち出し、将来の飛躍の準備を進めている。県内の主要企業4社のトップに2021年度の注力事業などを聞いた。

東京電機

社長

塩谷 智彦 氏



「自家発電装置の製造・販売を手がけています。現在の景況感をどう見ているか。」

「2021年3月期の売上高は前期比14%増の約79億円の見通しで、3期連続の増収を見込む。防災への意識の高まりや国の政策効果などから、

コロナ禍でも非常用発電装置の需要は堅調だった。幸いにも、コロナ禍の影響で生産活動が停滞することもなかった。今期の売上高も同じくらいの水準を見込んでいる。また、利益面も3期連続で増収となる見通しだ。近年は社員一人ひとりの意

「第5工場は完成品の倉庫などとして活用していき、発電装置の需要が伸びていく。顧客の要望に21年度に力を入れる。取り組みを教えてください。」

「一つは業務の効率化だ。生産管理システムをアップグレードして設計や製造のデータを有効活用する計画だ。グループと

データ有効活用で業務効率化



「一つは業務の効率化だ。生産管理システムをアップグレードして設計や製造のデータを有効活用する計画だ。グループと

助川電気工業

社長

小瀧 理 氏



「現在の景況感を。」「従来の柱としてきた原子力・火力発電分野のエネルギー関連事業は近年は低調傾向にある。それを補う形で、国内の一般産業向けに自動車や半導体、FPD関連が伸びている。自動車関連はアルミ・鋳造用電磁ポンプ、

FPD関連では基板加熱ヒーターなどに注力している。2021年9月期は増収の見通しで、半導体や有機ELパネル関連の製造設備向けが好調だ。さらに、エネルギー関連事業では核融合関連製品の大口案件の受注がある。」

「新型コロナウイルス感染症拡大の影響をどう見ているか。」「メーカーであるためテレワークは難しいが、不要不急の出張を抑制するなど感染リスクを減らしながら事業を進めている。一方で県外の営業所ではテレワークを導入し

「溶融金属の試験棟を新設した。まずはナトリウムの試験装置を導入し、

「半導体やFPD関連は市場が海外で大きく伸びている。性能の高め、新市場を開拓していきたい。」

「事業内容＝電気機械器具、精密機械器具の製造・販売」所在地＝茨城県高萩市上手綱3333の23、0293・23・6411」資本金＝9億2110万円」従業員数＝約250人」設立＝1949年(昭和24)2月」URL＝http://www.sukegawadenki.co.jp

試験棟を新設 研究開発積極化



「事業内容＝精密板金・プレス加工」所在地＝茨城県古河市丘里11、0280・98・3376」資本金＝8800万円」従業員数＝約160人」創業＝1951年(昭和26)3月」URL＝http://tomita-s.jp

富田製作所

社長

富田 英雄 氏



「当社が『厚板精密板金世界一』を掲げ、他社では難しい仕事を、当社が得意とする。世界最大の設計・製造を手がけた実績がある。出雲の鳥居、鹿島神宮の御手洗池の鳥居などの製作を通じて、鉄による芸術文化に

「コロナ禍でのような取り組みに注力していますか。」「営業活動が難しい状況が続く中、昨年6月より『カーボンニュートラル』の社会課題に対して、洋上風力のモノパイルやシャケット式の特長継ぎき、新たな顧客も増え、革新に挑戦し、ニッチな市場としてアジア圏

「事業内容＝精密板金・プレス加工」所在地＝茨城県古河市丘里11、0280・98・3376」資本金＝8800万円」従業員数＝約160人」創業＝1951年(昭和26)3月」URL＝http://tomita-s.jp

「事業内容＝自家発電装置の製造・販売」所在地＝茨城県つくば市桜3の11の1、029・857・4341」資本金＝7200万円」従業員数＝約170人」設立＝1920年(大9)3月」URL＝https://www.tokyodenki.co.jp

「事業内容＝電気化学分析機器の設計・製造」所在地＝茨城県水戸市元吉田町1739、029・247・6411」資本金＝2500万円」従業員数＝104人」創立＝1943年(昭和18)8月」URL＝https://www.hiranuma.com

HIRANUMA

社長

平沼 憲一 氏



「自動測定装置など電気分野は改善した。当社は、顧客の構築に力を入れており、その一環で、業務のIT化を推進している。」「2021年3月期は減収増益の見通し。売上高はコロナ禍で顧客の設備投資意欲の減衰から20年3月期に比べて減少し、一方で経費削減が進

「今後の見通しと注力する取り組みは。」「売上高は横ばいから若干のプラスを予想する。その中で、働き方改革を引き続き推進する。また、業務のデジタル変革(DX)に向けた準備も始める。マーケティングから設計、生産までの

「海外に挑戦するのが目的だ。当社の製品は国内ではブランドが認知され、機能、品質も評価されている。海外でも大きな市場がある中国や東南アジアでの拡販を図りたい。今秋には最新機種を向地域に投入する計画だ。海外の市場動向を把握するために本社に海外マーケティンググループを設置するなど、海外展開の体制を整備しながらグローバル化に対応していきたい。」

「事業内容＝電気化学分析機器の設計・製造」所在地＝茨城県水戸市元吉田町1739、029・247・6411」資本金＝2500万円」従業員数＝104人」創立＝1943年(昭和18)8月」URL＝https://www.hiranuma.com

「事業内容＝自家発電装置の製造・販売」所在地＝茨城県つくば市桜3の11の1、029・857・4341」資本金＝7200万円」従業員数＝約170人」設立＝1920年(大9)3月」URL＝https://www.tokyodenki.co.jp

最新機種投入 海外市場に挑戦



「事業内容＝自家発電装置の製造・販売」所在地＝茨城県つくば市桜3の11の1、029・857・4341」資本金＝7200万円」従業員数＝約170人」設立＝1920年(大9)3月」URL＝https://www.tokyodenki.co.jp